令和7年度若年技能者人材育成支援等事業に係る推進計画

青森県技能振興コーナー

【事業目的】

若年者のものづくり離れが見られる中、若者が進んで技能者を目指す環境の整備や産業の基盤となる高度な技能を有する技能者の育成等が課題となっており、このため、「若年技能者人材育成支援等事業」を推進することにより、若年技能者の人材育成、技能尊重気運の醸成等を図ることを目的とする。

【計画の概要】

1 ものづくりマイスターの認定、登録に関する業務

(1) ものづくりマイスターの開拓

企業及び業界団体を訪問し、ものづくりマイスター制度の趣旨説明を行い、ものづくりマイスター認定者の拡大に努める。

(2) ものづくりマイスターへの説明

ものづくりマイスターに対して、活動条件及び指導実施後の報告事項について説明を行うとともに、職業訓練指導員免許非保有者については、指導技法等講習を受講する必要がある旨を周知する。

(3) 申請書類等の取りまとめ

ものづくりマイスター候補者の認定申請書の作成支援を行うとともに、申請書類を取りまとめて中央技能振興センター（以下、「センター」という。）へ報告する。

(4) ものづくりマイスターに対する研修

新たに認定されたものづくりマイスターに対して、センターが準備する教材を活用して、指導技法等講習を実施する。また、センター主催「講師養成研修」及び「事例発表・意見交換会」へものづくりマイスターの参加勧奨を行い、ものづくりマイスターによる指導技能の均一化を図る。

2 ものづくりマイスターの活用に係る業務

(1) 若年技能者の人材育成に係る相談・援助等

若年技能者の人材育成等に係る取組方法への相談・援助に努めるほか、教育訓練機関、職種別団体、事業所を対象にもものづくりマイスターの派遣希望調査を行い、ニーズの把握に努め、実技指導等のコーディネートを行う。

(2) ものづくりマイスターの派遣による指導の実施

上記派遣希望調査の回答に基づき、ものづくりマイスターの派遣について調整を行い、指導を実施する。

(3) 若者に対する「ものづくりの魅力」発信

ア 地域若者サポートステーション事業の支援対象者に対する「ものづくりの魅力」発信

県内の若者サポートステーションからの要請に基づき、ものづくりマイスターの派遣を行う。

イ 小中学校等の児童・生徒に対する「ものづくりの魅力」発信

県内の小中学校等からものづくり体験指導の依頼があった場合に、ものづくりマイスターの派遣を行う。

ウ 公民館・集会所等の公共施設又は民間施設のイベントエリアにおける「ものづくりの魅力」発信

公共及び民間施設からものづくり体験指導の依頼があった場合に、ものづくりマイスターの派遣を行うとともに、当コーナーが自ら企画し「ものづくりフェア」を開催する。

(4) 熟練技能者等による派遣指導及び「ものづくりの魅力」発信事業の実施

ものづくりマイスター認定職種以外に指導の要望があった場合は、熟練技能者の資格要件に基づき派遣を行う。

3 地域における技能振興事業

(1) 技能五輪全国大会の予選の実施等

ア 技能五輪全国大会の予選の実施

日本料理部門で、県内の高校生等を対象に県予選を行い、選手選抜を行うとともに、若手技能者の技能向上及び育成促進を図る。

イ 技能五輪全国大会及び若年者ものづくり競技大会への参加支援の実施

参加選手とその指導者の旅費並びに工具等の運搬費の援助を行い、大会参加を促進する。

(2) 卓越した技能者（現代の名工）の表彰制度の紹介コンテンツの作成支援

令和7年度の被表彰者に対して取材を行い、取材結果をセンターに提出する。

(3) 「地域発！いいもの」応援事業及びグッドスキルマーク事業の休止に伴う対応

認定を受けた事業者から認定内容の変更・廃止等の相談を受けた際は、センターに問い合わせるよう伝える。

4 地方公共団体、経済団体等との連携会議の設置・運営

(1) 連携会議の設置

構成メンバーは、一般社団法人青森県工業会、青森労働局、独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構青森支部、青森県教育庁学校教育課、青森県高等学校長会工業部会、青森県経済産業部産業イノベーション推進課、青森県技能士会とする。

(2) 連携会議の開催回数

連携会議は2回開催する。6月に推進計画の説明、12月に事業実施状況の報告及び次年度事業推進計画策定に向けた意見交換を行う。

(3) 青森労働局との連携

中小企業におけるものづくりマイスターの活用促進について相談を行い、派遣の拡大を図る。